

大学教育推進プログラム【テーマA】 高齢者施設での福祉・看護・栄養の統合教育

経過報告(3) 他大学の連携教育や福祉施設での実習の視察

他大学での連携教育や福祉施設での学生実習の実態を参考にして、本取組の実習内容や評価方法の見直しを行うために、下記の日程で視察を行いました。

- 2010年3月1日 新潟医療福祉大学
(視察メンバー：浅野、荒木、林田、外山、飯野)
- 2010年3月2日 東北福祉大学
(視察メンバー：浅野、荒木、林田、飯野)

新潟医療福祉大学では、文部科学省平成21年度戦略的大学連携支援事業にも採択されている連携教育を担当されている真柄彰先生と押木利英子先生からお話を伺いました。医療福祉系の複数学科の学生が合同して4年間を通して研究や実習を行う連携教育の実際を勉強することができました。日本保健医療福祉連携教育学会の理事長をされている学長の高橋榮明先生とも連携教育の重要性についてお話することができました。

東北福祉大学では実学臨床教育推進室で阿部一彦先生、佐藤泰伸先生、袖井智子先生からお話を伺いました。福祉施設で4年間を通して継続した実践経験を積む実学臨床教育の成果について勉強することができました。福祉施設「せんだんの杜」の見学も行い、実習中の学生さんからお話を聞くこともできました。

複数学科で行う連携教育や福祉施設での実学教育を開始し継続していく上での注意点などを数多く学ぶことができました。今回の視察で得たことを参考に、本取組の実習内容や評価方法の見直しを行い、実習の有効性や効率性を高め、本取組を通して学生が獲得する学士力の向上を図る所存です。



福祉施設で実習中の学生さんと

文責：浅野嘉延(プログラム推進責任者、看護学科教授)